



2023年11月20日

各 位

会 社 名 GMO フィナンシャルゲート株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎
(コード番号 4051 東証グロース)
問合せ先 取締役 コーポレートサポート本部
本部長 玉井 伯樹
(TEL 03-6416-3881)

GMO フィナンシャルゲートにおけるマテリアリティ(重要課題)の特定に関するお知らせ

当社は、2023年11月20日開催の取締役会において、社会課題の解決に対する継続的な貢献と当社の企業価値向上の両立を目指し、当社の取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. マテリアリティ(重要課題)について

当社は、ステークホルダーの期待に応えるため、GMO インターネットグループで共有する「GMO イズム*」のもと、「決済に変革 社会を変える No.1 キャッシュレスプラットフォームへ」という当社コーポレート・ミッションを踏まえ、優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定いたしました。詳細につきましては、別紙をご参照ください。

これらの重要課題に取り組むことで、対面決済市場におけるキャッシュレス化推進を通じ、環境負荷の低い社会の実現、労働人口減少への対応、地域社会の活性化、消費者の多様な決済スタイルの創造等の社会課題の解決に対する継続的な貢献と当社の企業価値向上の両立を目指していきます。

* GMO イズムとは、GMO インターネットグループにおける不変の目標である「スピリットベンチャー宣言」、「55ヵ年計画」のほか、「幹部の心得」、「勝利の法則」を表現した社是・社訓の総称

以上

		マテリアリティ(重要課題)	SDGsへの貢献
社会的責任	1	<p>● 安心・安全な対面キャッシュレス決済インフラの提供</p> <p>キャッシュレス決済の普及に伴い社会インフラとなったキャッシュレスプラットフォームを安定的に運営。セキュリティ面にも配慮した事業運営を行い、高い専門性と安心・安全な対面決済インフラを提供。具体的には、消費者・加盟店双方における犯罪リスクなどの安全面、効率性や管理コストの業務面、現金対比で環境負荷低減が図れる環境面などにおいて、大きな安心と高い利便性を提供</p>	
	2	<p>● 環境負荷に配慮した決済端末の提供</p> <p>キャッシュレス決済は現金決済と比較しCO2排出量が約1/3との調査結果もあり、当社事業の持つ社会的意義は非常に大きいと認識。また、当社が仕入・販売を行う決済端末についてもサプライヤーとの協議を通じて、環境負荷に配慮した部材を利用いただくなど、ライフサイクルアセスメントに基づいたサプライチェーンCO2排出量の継続的な低減を目指す</p>	   
	3	<p>● 技術先進性を取り入れたキャッシュレス化の促進</p> <p>労働人口の減少や少子高齢化の進展に伴い、現金決済は消費者・加盟店双方にとってハンドリングコストが上昇。セルフレジや無人精算機等を通じ、消費者には新たな決済体験を、加盟店には効率的な運営を提供</p>	 
経営体制	4	<p>● 高い専門性を有する人財確保と育成投資の強化</p> <p>安心・安全なキャッシュレス決済インフラを安定的に提供するには、それを支える優秀な人財が必要不可欠。働きがいがあり、成長を促す環境を提供するために、年齢・国籍・性別・言語等を問わず、高い専門性を有した多様な人財を迎え入れダイバーシティを推進し、加えて多様な人財が即戦力として活躍できる各種社内制度と研修制度を整備し、インクルーシブな企業運営を実現</p>	 
	5	<p>● 公明正大なガバナンス体制の構築</p> <p>増加するステークホルダーの期待に応えるために、経営の透明性と健全性を高めるべくコーポレートガバナンスコードに沿った体制構築を推進。独立社外取締役の補強に加え、リスク管理体制強化に資する任意の特別委員会等の設置を通じ、ガバナンス体制を強化</p>	